

# 令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：高齢者福祉課

担当名：介護人材担当

内線：3232

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B28	介護人材総合推進体制構築事業費			一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉費	介護保険制度推進事業費	
事業期間	令和元年度～ 令和7年度	根拠法令	なし			宣言項目	02 健康・医療・介護の安心確保		
						分野施策	010206 介護人材の確保・定着対策の推進		
1 事業概要 介護人材確保・定着に係る全県的な取組を推進するための体制づくりと、介護人材の新規開拓を進める。  地域医療介護総合確保基金の充実に伴う財源更正 (基金) 29,200千円 (一般財源) △29,200千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 介護人材確保・定着推進協議会の設立・運営 介護人材確保・定着に係る全県的な取組を推進するための体制を構築する。 イ 市町村による介護人材確保支援事業 人材育成の取組のすそ野を広げるため、市町村が実施する介護に関する入門的研修の実施からマッチングまでの一体的支援に対して助成する。 ウ 外国人介護人材確保・定着事業 外国人の介護現場への受入の促進を図るため、介護施設が介護の担い手として外国人を受け入れた場合の日本語能力の習得に係る費用及び住居費を施設が負担した場合の費用の一部を助成する。 エ 介護ロボット効果実証導入促進事業 介護ロボットの導入促進を図るため、効果の検証を行い、機器の選び方や活用方法を他事業所に提示する。 (2) 事業計画 ア 介護人材確保・定着推進協議会の設立・運営 埼玉県介護人材確保・定着推進協議会(推進母体)の設立・運営 年1回開催 県市町村連絡会議の実施 年2回実施、介護人材確保対策検討委員会の実施 年4回程度実施 ほか イ 市町村による介護人材確保支援事業 市町村に対する補助 10市町村 ウ 外国人介護人材確保・定着事業 日本語の習得に係る費用及び住居費を施設が負担した場合その一部を補助 (7) 介護福祉士資格取得を目指す外国人留学生 60人 (4) 技能実習生(介護) 40人 エ 介護ロボット効果実証導入促進事業 (7) アドバイザーの訪問指導により施設が最適な介護ロボットを導入 4施設 (4) 結果報告会等を開催 4か所 (3) 事業効果 介護人材の確保及び定着が促進される。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 関係団体と連携して取組を進める。 (5) 補正予算の概要 地域医療介護総合確保基金の充実に伴う財源更正					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		繰入金							
決定額	0	29,200						△29,200	57,280
現計額	57,280							57,280	